



講師の方から「宇宙までの距離」や「ロケットの役割」を学び、ペンシルロケットのペーパークラフト制作に挑戦しました。  
#会場\_あらかわエコセンター  
#協力\_JAXA宇宙教育センター



ビオトープ(生物の生息空間)でヤゴを採集して、ヤゴの分類に挑戦しました。「シオカラトンボ」や「ショウジョウトンボ」など、全部で78個体のヤゴを採集しました。  
#採集場所\_あらかわエコセンター 屋上



ロケット広場にあるH2ロケットと記念撮影後、ガイド付きの見学ツアーに参加。宇宙飛行士養成エリアや宇宙メダカの観察など、宇宙開発のさまざまな取り組みを学びました。  
#会場\_JAXA筑波宇宙センター



昼食後は、筑波実験植物園に移動しました。熱帯雨林温室や絶滅危惧植物などを観察するガイドツアーに参加して、植物の多様性に触れました。  
#会場\_筑波実験植物園 #熱帯雨林温室 #絶滅危惧植物



「ペットボトルで雲を作ろう」の実験後、気象予報士さんのアドバイスを、「夏」「冬」「梅雨」「台風」の天気予報についてキャスター原稿を作り、お天気キャスターの体験をしました。  
#講師\_気象予報士



生き物カードを使用した仲間さがしゲームのあと、「砂浜模型での実験」や「海の油汚れを救う素材の実験」などに挑戦。海の生き物と海洋汚染との関わりを実感しました。  
#会場\_あらかわエコセンター



夜の荒川公園で、セミの羽化の親子観察会を実施。公園には「アブラゼミ」のほか、前年は見られなかった「ミンミンゼミ」や「ニイニゼミ」も現れ、3種類の羽化を観察しました。  
#観察場所\_荒川公園



荒川の源流を持つ秩父市で、1泊2日の森づくり体験の交流プログラムに参加。大自然を満喫しながら、森づくりの厳しさや自然環境の尊さに対する理解を深めました。  
#体験場所\_彩の国ふれあいの森

#Ecojuniorgram

体験が楽しい!

発見が面白い!

知らなかった事が学べたよ!

あらかわエコジュニアクラブは平成30年4月から始まりました。学校の授業や普段の生活ではなかなか体験できないプログラムが満載で、身近な環境について楽しく学ぶことができます。どんな活動内容なのか見てみよう!



インドネシア・パプア州のカカオを材料にした本格的なチョコレート作り挑戦。シェフの指導のもと、カカオマスと砂糖、湯煎中の温度を測ったり、全員で作業しました。  
#体験\_チョコレート作り\_試食



身近な食品がパーム油を材料にしていることを知り、「RSPO認証マーク」について学びました。また動物の生態とSDGsとのつながりや関係性についても考えました。  
#内容\_熱帯雨林\_パーム油



「宇宙と地球コース」と「エコもの作りコース」に分かれ、「エコマーク」と「企業インタビュー」をテーマに見学。エコマークの歴史や各企業の独自の取り組みを学びました。  
#会場\_東京ビッグサイト



秩父子どもエコクラブのメンバーと、隅田川を遊覧する上水バス「あじさい号」に乗船。隅田川の上流域と下流域の違いや生態系の違いなどを上水バスから観察しました。  
#秩父子どもエコクラブ交流会



上水バスで学んだあとは、葛西臨海水族園に移動。ワークシートを使用しながらグループ見学。交流を深めながら発見の多い一日になりました。  
#秩父子どもエコクラブ交流会



デザイナーの方を講師に、デザイナーの仕事やグッズデザインのほか、未来の広告となる「環境マーク」の特徴や役割を学びました。連続講座となる1回目はポスターの下書きが中心でした。  
#ポスター下書き



連続講座の2回目はポスターの仕上げ。プリントをコラージュしたり、木の葉を使ったりと色々なアイデアを発想。伝えたい思いを一つにして「かんきょうマーク図鑑」を完成させました。  
#ポスター完成

6月は環境月間です

日本では環境基本法により、6月5日を「環境の白」と定め、6月の1か月間を「環境月間」としています。環境月間には、環境に関するさまざまな活動が行われます。皆さんもぜひ、「環境」について考えてみてくださいね。